

ご飯1杯50~60円は高いだろうか?

薄井吉勝 (農家・福島県須賀川市)

超高級米が原発事故ですっ飛んだ

私の父は「薄井流疎植水中栽培」を提唱し、長年にわたってイネの潜在的な力を120%發揮させる栽培法を追究してきました。40年前に私が就農し、栽培と営業を担当してからは、全国のイベント、物産展、商談会などに出かけ、銀座の百貨店や西麻布の高級レストランなどにも、こだわりの超高級米として販売していました。出荷先は福島県内が1%で、ほとんどが東京や大阪など県外でした。しかし2011年、東日本大震災と原発事故によりすべてがすっ飛び、全量が一般業者販売となりました。

事故後5年を経て出展した東京での商談会では、「福島県、もう出展して大丈夫なの?」「なにがあつたら誰が責任をとるの?」と心ないことをいわれたりもしました。やつと元の雰囲気に戻れたのは事故後10年を経



手に持っているのはイネの苗。ポット育苗という様式で、普通より大きい苗に育てる。米の直接販売歴は40年。イネ14ha、リンゴ1.5haを本人、父、息子の3人で経営 (Y)

てからで、この3年ほどは個人やレストランへの直接販売も約10%ほどになっています。

ご飯1杯25円は安すぎた

業者向けとはいえ、特別なこだわり米です。取引前には来園して視察するのを必須とし、当園の栽培方法

などをよく理解した業者のみに販売しています。24年産でもJAや一般の集荷業者より約30%以上高い販売価格でした(税抜60kg2万8000円)。25年産も同様。当園の生産経費は10a当たり約8万円(人件費含む)。内訳は上の表のとおりです。

さて、私が考える米の適正価格は、農家の販売価格で玄米1俵60kg=2万~2万5000円です。標準的な慣行栽培米を平場で栽培し、福島県の地元JAに販売した場合で、このくらいが適正と考えます。わが家の米はさうにこだわり分を上乗せした価格です。

私は昔からお客様に「ご飯茶碗1杯で何円になる?」と質問してきました。すると多くの人が「50~100円くらいかな?」と答えます。最近の価格高騰により前は「ふつうの米は1杯25円ですよ」と話してて、「えっ? そんなに安い米を食べてんの」と驚かれたものです。近頃はニュース報道でやつと1杯何円かが話題になっていますが、本当にご飯は安価でないし満腹感もカロリーもある食べ物だと思います。

わが家の10a当たりの経費 (概算)	
・水田の固定資産税や地域の農事組合費、水利組合費、共済掛金など機械や建屋の減価償却費	2万5000円
・肥料や農薬(除草)、床土などの購入代金	1万5000円
・作業機械の部品代金、修繕費、農具・資材代、燃料代など	1万円
・人件費(時給1000円として、約10時間を水田に費やす)	1万円
・作業服や長靴、手袋などの購入代金、休憩時の飲食物の購入代金、商談会や営業時の旅費(交通費、ホテル代金、飲食代金)、その他	2万円
合計	8万円

5kg2000円(お茶碗1杯約25円)が2倍になつて16杯として、5kg4000~4800円)は、なかなか満腹感もカロリーもある食べ物だと思います。今、価格高騰前の

お米についての歴史年表

原案 || たにりり 作成 || 編集部

それぞれの出来事や制度に関して、詳しくは p.36 をご覧ください。
史を通じて政治の最大課題であった、これからもきっとそうだ。
— そんなことが見えてくる年表です。



年	出来事・制度	江戸時代	明治	大正	昭和
1582	太閤検地 (～1598) 石高制の確立へ				
1603	江戸幕府始まる				
1642	寛永の大飢饉 米価高騰、百姓一揆頻発				
1716	享保の改革 (～1745)				
1730	米将軍・徳川吉宗が財源確保のために低米価対策 堂島米会所を公認				
1732	享保の大飢饉				
1782	天明の大飢饉 (～1788) 近世最大の飢饉 (浅間山噴火、東北で餓死者、 全国で打ちこわし、米価高騰)				
1787	寛政の改革 (～1793) 松平定信が備蓄強化				
1833	天保の大飢饉 (～1839) 東北の被害大 大塩平八郎の乱				
1837	大政奉還				
1867	地租改正				
1889	大凶作で輸入 (29万t) これをきっかけに輸入国へ				
1902	東北地方の大凶作 やませで冷害 日露戦争				
1904	東北地方の大凶作				
1905	天明・天保の大飢饉以来の大規模凶作				
1914	第1次世界大戦				
1918	富山の米騒動 (越中女一揆)				
1921	富山から1道3府40県に広がり、内閣は総辞職 産米増殖計画 (～1934) 朝鮮半島の米増収事業				
1920	米穀法 国が米の売買を管理する制度				
1933	米穀統制法 統制強化				
1937	昭和9年凶作・東北冷害 (～1935) 日中戦争 第2次世界大戦 (～1945)				
1941	1942～49年配給制度、闇米横行				
1942	1920年代小作争議が激化				
1945	1878～88年米を輸出 欧州へ毎年約5万t				
1946	1600年代新田開発が盛ん				

江戸時代 (1603～1868)

生産拡大、繰り返す豊凶とたびたびの飢饉のなかで、幕府は米価安定を目指した
米は税金であり、政治・経済の根幹をなす存在だった。幕府は新田開発を進めて生産拡大。
財源の確保に努めたが、冷害や洪水などで度重なる飢饉にも苦しんだ。凶作に備えた備蓄推進や先物取引公認など、米を統制したり市場まかせにしたりと揺れ動きながらも、幕府は米価安定を目指した。

明治～終戦 (1868～1945)

米輸出国から輸入国へ、米騒動も頻発、
植民地に頼った

水田面積拡大、高収量品種登場などで、生産力が向上した。明治前期、米は歐州への輸出の花形品目となつて外貨獲得に資した。しかしその後、冷害や水害などの凶作、人口増加などから国内消費用の米が足りなくなり、米騒動も頻発。台湾や朝鮮半島から米を輸入した。
大正から昭和初期は植民地での米生産拡大に力を入れた。豊作と安価な輸入米で農村が疲弊。国家が米の売買を管理する米穀法を制定。
1942年 戦時体制下で制定された食糧管理制度につながった。

終戦～高度経済成長期 (1945～1970年代)

悲願の自給達成、そして過剰米
食糧難から脱却と自作農の誕生、
終戦直後は深刻な食糧難で、高額な闇米が公然と横行した。農地改革で地主制が解体され、多くの自作農が誕生すると、農村は活気にあふれ、復興と増産が急速に進んだ。
1961年の農業基本法では、農業の近代化（機械化・規模拡大など）や食管制度による価格支持で農家の所得向上を目指し、生産量も増大。67年には日本は約70年ぶりに悲願の米自給を達成できた。だが高度経成長期の食生活の

プレイバック

「令和の米騒動」



スーパーの店頭米価は、2024年の初めからすでにじわじわと上昇を始めていた。値上がりが加速したのが7月。そこへ、8月8日に宮崎県沖の日向灘で発生したマグニチュード7・1の地震が追い打ちをかけた。直後に、気象庁が南海トラフ地震に対する注意を喚起したことなどから、スーパー店頭の米が品薄となり「令和の米騒動」が始まった。

その後の経緯を振り返ってみよう。

南海トラフ情報で米が品薄に

2024年

7月30日 農水省が、農協や卸売業者などが保有する主食用米の6月末時点民間在庫が過去最低になつたことを発表。

8月 8月8日に起きた日向灘の地震後、気象庁が南海トラフ地震臨時情報を発表。同時に台風もあつたことから、スーパーでの米の購買量が前年約1・5倍まで増加。品薄状況が起きた。

12月20日 総務省公表の消費者物価指数で米類は前年同月より64%高。新米が出回れば価格が落ちくと言つていた農水省の見立てが外れた。

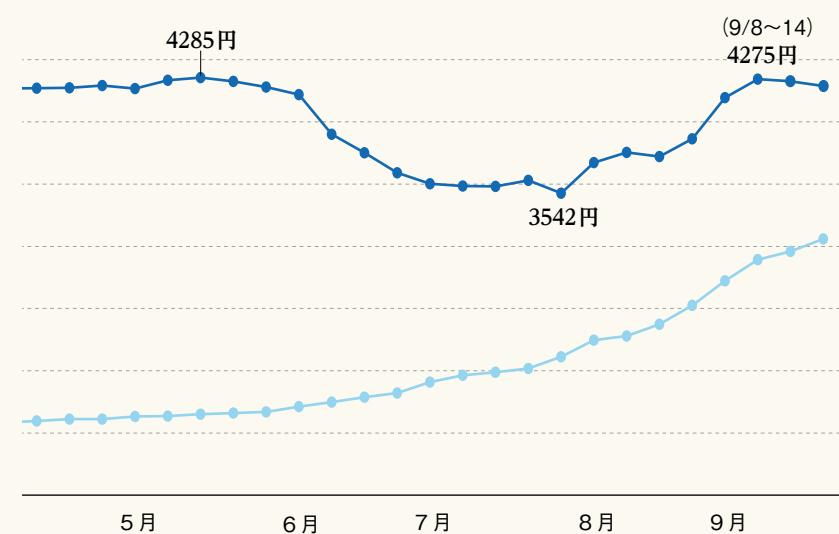
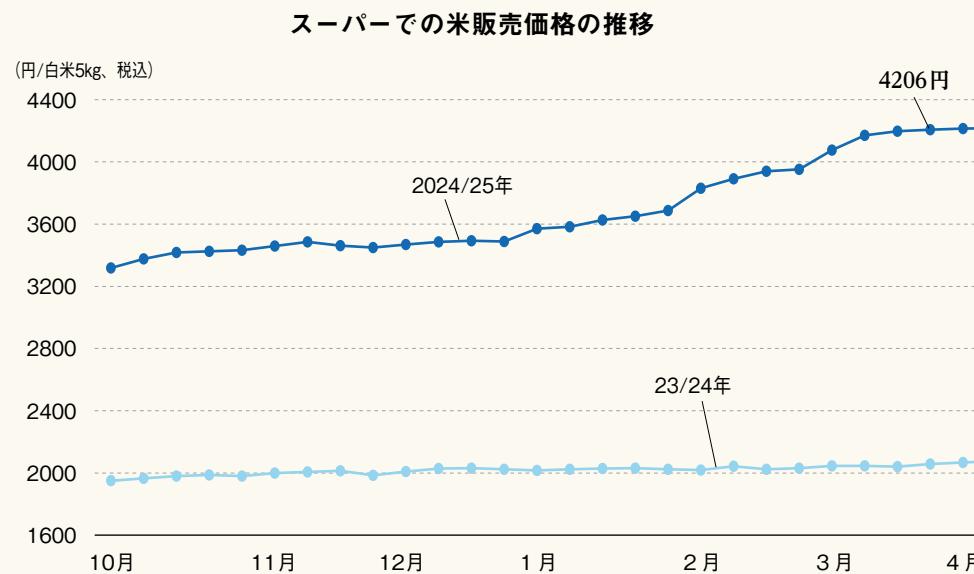
備蓄米放出へ

2025年

1月24日 江藤拓農水相が備蓄米放出の新制度創出を発表。凶作時しか放出しないとしていた従来の運用方針を見直し。

データ編

米の価格・流通・令和の米騒動



全国約1000店舗のスーパーPOSデータによる

出典：農水省

イネを育てる現場より

茨城県龍ヶ崎市・横田農場にて撮影

写真：依田賢吾

田植え

イネが田んぼで育つ期間は、品種や栽培法によるが4ヶ月前後。その始まりの作業

茎数調査

田植えした苗は、茎を増やしながら生長する。イネの生育度合いは草丈、葉色（緑の濃淡）、そして1株の茎の数で判断できる。追肥の量や時期の調整に役立てる

幼穂長を見る

穂が出る20日ほど前、茎の中にでき始めた幼穂の長さを調べる



育苗

田植えをする苗を育てる。育苗期間も栽培法によって長短がある。これは「稚苗」といって期間が短く、15～20日ほど

ご飯1杯の値段 高い? 安い?

2015年 17円
↓
2025年 54円



米1kgでご飯16杯分
(ご飯1杯分の米は62.5g)

スーパーの5kg価格が2015年1380円、
2025年4285円として計算



1杯分の米は
1/2合弱

米価が急落して農家が苦境に陥った
2015年、ご飯は1杯17円だった。
令和の米騒動で高騰した
2025年は、ご飯1杯54円。
急速に値上がりしたのは確かだが、
この値段、他の食品と比較してみた。

17円って
どのくらい?

54円って
どのくらい?



ペットボトルのお茶
17円だと $\frac{1}{8}$ 本
54円だと $\frac{1}{3}$ 本*



アイスは
一口分か
二口分だね!



アイスクリームは
17円だと7g
54円だと16.9g



即席やきそばは
17円だと19g
54円だと41.8g

ドーナツは
17円だと9g
54円だと21.6g

* 2015年と2025年の比較では、値上がりしたのは米だけではない。ペットボトル茶1本140円→159円、アイスクリームは1個256円→351円、やきそばは1個160円→231円、ドーナツは1個130円→172円に価格改定したものとして、「17円だと(2015年)」「54円だと(2025年)」の数値を算出した。

ご飯1杯54円は、
果たして「高い」だろうか……?